地域子ども・子育て活動支援助成事業　実施報告書（別紙２）

団体名	いきがい工房　さらら

取組の名称	こどもたちの朝と夕方の居場所づくり＆子育てなかまの居場所づくり
実施場所	川崎市川崎区浜町１－９－１４　アカツキビル１Ｆ おむすびかふぇ　サララ
対象地域	川崎区田島地区
対象地域の 特色・課題	工業地帯に隣接しており古くから下請け会社が多く共働き家庭が多い。養育にかける家庭も多く、また労働者や外国人が多く住み核家族世帯が多いため、家庭支援が必要な地域である。こども達が安心して安全に過ごせる場所が不足しているのが課題である。核家族のために子育てを相談し頼るコミュニティーが少ないことが課題である。また一人暮らしの高齢者が気軽に集まれる場所がないのも課題といえる。
取組の趣旨・目的	・学校に行く前の時間帯のこどもの見守り、特に保育園で早出保育を利用していた家庭への朝の支援。また放課後のこども達の居場所（遊びの見守りと学習支援など）の提供。 ・乳幼児や子育て中の保護者から高齢者がであうcafé の場所を使いながら、こどもが健やかに育ち若者や大人が心ゆたかに暮らし世代を超えたふれあいが繰り広げられる身近な場所になるようにいろいろな世代に向けた取り組みをおこなう。ひととひとがつながり分かち合うことやおたがいさまといった「ゆいまーる」のような街づくりを目的とする

<table>
<tr><td>実施内容・実施スケジュール</td><td colspan="3">① 朝の見守り
７：００～８：００　朝食の提供と学校への送り出し
② 放課後支援
１８：００～１９：００　宿題などの学習支援
（小・中・高校生）（毎週月曜日）
③ 子ども食堂
１７：００～１９：００　（毎月第４金曜日）
④ フードパントリー（ひとり親サポート）随時
⑤ こそだてひろば
９：３０～１３：３０　（毎週月曜日）
⑥ こどもレストラン&おもちゃひろば
１０：００～１５：００　（毎月第３土曜日）</td></tr>
<tr><td>参加者の年代</td><td>① ７～１０歳ぐらい
② ７～15 歳
③ 未就学児～高齢者
④ ０～18 歳とその保護者
⑤ 0～５歳とその保護者
⑥ 未就学児とその保護者・小学生</td><td>定員
（１回あたり）</td><td>① なし
② 6 名
③ 130 名
④ 10 家庭
⑤ 5 名
⑥ 10 名</td></tr>
<tr><td>実施頻度</td><td>① 週３回
② 週１回
③ 月１回
④ 週１回
⑤ 週１回
⑥ 月１回</td><td>活動日数
（年間）</td><td>① 125 日
② 42 日
③ 12 日
④ 42 日
⑤ 38 日
⑥ 12 日
計 271 日</td></tr>
<tr><td>スタッフ体制</td><td colspan="3">①　１人
②　３人
③　10 人
④　２人
⑤　１人</td></tr>
</table>

	⑥　２人
連携する団体・連携の手法	・合同会社ゆいまーるに会場の貸し出しをしてもらう ・おむすびかふぇサララに朝食の提供と学習サポートの夕食の提供をしてもらう ・おむすびかふぇサララの利用者にボランティアの協力を呼び掛けてもらう。 ・近隣保育園（あいせん保育園・わたりだ保育園・桜本保育園）にチラシを配布して早出保育利用の保護者に呼びかけてもらう。 ・田島支所や町内会にチラシの配布・回覧の協力をしてもらう ・区社協・こども食堂ネットワークなどと連携して食料配布を行う
取組実施により見込まれた効果	・朝の見守り 　おむすびかふぇの前の横断歩道を渡ってくる子供たちの見守りと声掛けを行うことで場所を知ってもらう。 ・夜の活動 　塾に通うことのできない子や勉強スペースのない子のスペースとして宿題を中心にわからないことを学べるようにすることで定着してきている。高校生になった子が自分の勉強だけでなく小学生の子に教えたりするようになってきている。 ・子ども食堂を通して個食のこどもたちや忙しい保護者の支援と個食の高齢者にも声をかけ世代間交流につなげる。土曜日のおもちゃひろばのときにカレーの提供を始めたことで小学生がくるようになり広がりが出てきている。 ・ひとり親家庭対象にコストコのフードロスと連携しパンの供給が定期でできるようになったことでコメの高騰で主食を補うことができている。 ・子育て支援 　こそだてひろばに　ひとがいつもいることで少しづつ子育て中の家族とつながり子育ての相談活動につながってい

	る。